


児童相談所関連研修「児童心理司（1～2年目）」（第1回）

【日時】	令和2年10月22日（木）～10月23日（金）9：00～17：00
【会場】	特別区職員研修所
【受講者数】	63名
【講師】	<ul style="list-style-type: none"> ・鎌倉女子大学 学術研究所 子ども発達臨床研究施設 研究員 加藤 吉和 氏 ・横浜いずみ学園 園長 井上 真 氏 ・東京都児童相談センター 職員 ・立正大学 心理臨床センター 相談員 田中 周子 氏
【研修内容】	<p><目的></p> <p>児童心理司（1～2年目職員）として求められる役割を理解すると共に、基礎的な知識・スキルを身につけ、面接・心理検査等を通じた子どもと保護者の状態の的確な把握、アセスメント及び他職種・他機関との連携によるケースへの対応力を習得する。</p> <p><内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ①面接場面等における子どもと保護者の行動観察 ②支援関係の構築 ③解決志向による面接方法の基礎 ④虐待やマルトリートメントが子どもに与える影響 ⑤心理検査結果による子どものアセスメント （基礎編） ⑥家族のアセスメント ⑦機関協働によるカンファレンスと心理職の役割 ⑧関係機関へのコンサルテーション <div style="text-align: right;">  <p><講義の様子></p> </div>
【受講生の声】	<ul style="list-style-type: none"> ・理論だけでなく事例や具体例、演習を用いて講義を進めて下さり、自分のケースにどう活かすか考える契機となりました。 ・現場経験と知識を結び付けて話して下さったため、自分自身も現場に戻って活用してみたいと思うことが多々ありました。 ・家族を全体像で見るとということがケース理解の大切な手がかりとなることがよく分かりました。個々の親子の姿を見て関係を築きケアに生かしていきます。 ・業務に生かせるような内容ばかりでした。具体的なポイントが多く示されていて良かったです。